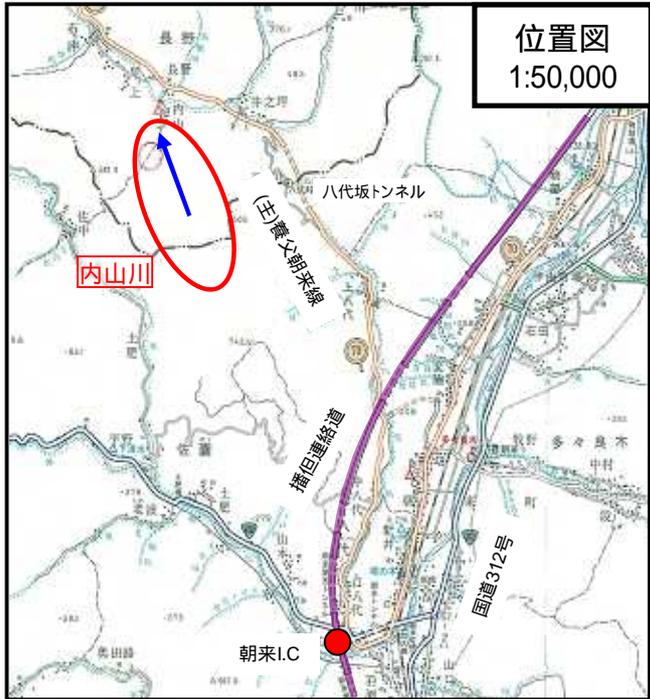


## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.6 億円
		通常砂防事業 うちやま 内山川	養父市 ながの 長野	内用地補償費	0.1 億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
養父市長野				H 2 2	H 2 4
事業目的			事業内容		
<b>土石流対策</b> 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m, L = 60.0m)  [負担割合 国: 1/2、県: 1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系建屋川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ500m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家14戸、(一)建屋川、市道(避難路:約600m)、集会所(避難所)</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成21年度に土砂災害警戒区域を指定する予定であり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・地元要望が強く、工事用道路として林道からの寄りつきが容易であるなど、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時における避難所の確保が重要であることから、早期着手に対する地元要望が強い。  以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

うちやまがわ  
内山川  
[ 養父市 ]



計画概略図  
縮尺 1:12,000

